

# 緊縮型予算

春の日差しを受け散歩する紫尾保育園児

町民1人当たり95万円の借金

平成19年度は、町の借金の返済金である公債費の償還額が最高となり、歳入面では、新型交付税の導入や、豪雨災害による税収の落ち込みなどで、財政状況が最も厳しい年度であります。

歳入不足が見込まれることなどから、財政調整基金の取り崩しや、効率的な町政運営をするための予算となっております。

本年度の新たな借金は、14億3930万円で、前年度と比較して3億5590万円の減となっております。

平成18年度末の町の借入金残高は、240億5990万円で、町民1人当たり95万円の借金をしていることとなります。

## 平成19年度各会計の当初予算額

会計名	19年度	18年度	増減額	
一般会計	136億2,000万円	138億1,300万円	▲ 1億9,300万円	
特別会計	国民健康保険事業	30億9,536万円	28億 540万円	2億8,996万円
	老人保健医療	49億9,255万円	50億5,768万円	▲ 6,513万円
	介護保険事業	25億1,653万円	24億3,069万円	8,584万円
	介護サービス事業	1,960万円	1,398万円	562万円
	町立薩摩診療所	1億2,488万円	1億4,543万円	▲ 2,055万円
	農業集落排水事業	5,790万円	5,943万円	▲ 153万円
事業会計	水道事業(支出総額)	1億3,438万円	1億3,125万円	313万円
	簡易水道事業(支出総額)	3億4,380万円	3億7,592万円	▲ 3,212万円